



# 荒子観音とその界限を歩く

9期 文化 小島 悟



12月の楽しく歩こう会は名古屋四観音の一つ、鉞彫りで有名な円空仏の宝庫『荒子観音』と、その周辺の名刹を訪ねる会であった。

朝10時地下鉄高畑駅に集合、はじめに真言宗智山派の宝珠院へ向かう。寺伝によると神護景雲年間（8世紀中頃）泰澄大師が開基された常楽寺の塔頭の一つである。

境内は樹木が多く緑地保全地区に指定されている。五葉松やクスノキなど市の保存樹も何本かあり、大変静かなところである。庭園には巨石が数多く配置され、まるで古都の庭園を巡っている感じさえた。この寺院には水琴窟も作られているようだが見学はできなかった。

そのあと東の方向に荒子観音に向かって歩を進めた。途中『富士権現天満宮』に立ち寄る。荒子城跡で『前田利家生誕之地』の大きな石碑が建っていた。前田利家と

いえば加賀百万石を思い浮かべるが、こうして尾張にも関係深いことを知り、一昨年NHKで放映された大河ドラマ『秀吉』の渡辺徹扮する犬千代を思い出した。

最後に荒子観音にお参りした。荒子観音の名で知られる観音寺（天台宗）は奈良時代の創建といわれ、天平13年（741）自性上人を開山とする。本堂が一昨年再建されたばかりの真新しい木造建築である。本尊の観世音菩薩は厨子の中に納められていて拝観することができなかったが、須弥壇の両端に円空仏が安置されていた。山門は本瓦葺きの楼門で、左右に高さ3Mあまりの金剛・天王力士像が安置されている。いずれも円空作の力士像で、円空独特の力強い鉞彫りの像である。筋骨隆々の力士像が鉞彫りで仕上げられているのでいっそう力強さを感じる。先年亡くなった版画家棟方志功が同じ時代に生きていたら……と考えながら帰途についた。

なおここには国の重要文化財に指定されている多宝塔もある。名古屋最古の木造建築物で、近年老朽化が進み本年早々から解体修理にかかるようである。また、門をくぐった右手にあった鐘楼も10月の台風で倒壊したそうである。

## 第3回研修会『ノリタケクラフトセンター』の見学について

10期生活 今井孝四郎

平成11年2月3日(水)寒波の南下で大変寒い日となったが、参加者30名元気に午前10時より『クラフトセンター』を見学した。

先が見学者などに対応する接待用建物のビデオ映写室において15分程度のビデオによる『ノリタケ』の会社の歴史を含めた概要と、これから見学する『クラフトセンター』の1F～5Fまでの見学内容について説明があった。

私の常識によれば『ノリタケ』は高級陶磁器食器の日本のメーカーとの先入観を以前から持っていたが、ビデオの説明を見て一層その感が強くなり、『クラフトセンター』の見学が更に興味を増した。

ビデオで『ノリタケ』は1904年この地に創立され、以来90有余年品格ある高給磁器を追求し、更にクリスタルガラス、金属食器、メラミン食器をも手掛け、テーブルウェアのトータルメーカーへと成長し、その製品は110ヶ国以上に輸出され、世界の食卓で親しまれている。この『クラフトセンター』は『ノリタケ』ならではの技術と経験を結集した最高級白色磁器『ノリタケ・ダイヤモンドコレクション』を製造する工場である。1F～5Fの感想は各フロアごとに述べる。

### 1F：成型工程

原料は高級品である磁器のもので珪石・長石・カオリン・粘土  
お皿やカップが自動で成形、流し込み成形など経験からくる合理化が、よく進められているが、まだ手作業が多いのが悩みであろう。素焼き950℃18時間、施釉後更に1360℃で38時間2回の焼成で収縮10%を見込んで素晴らしい食器が作られている。この作業場では過去の長い経験から学んだ合理化が素晴らしくよく生かされていると思う。

### 2F：絵付工程

金線ひき：高級の食器の縁取りなどに行う。焼付後よく磨く。  
転写絵付：金属の酸化物でできた絵柄を印刷した物を貼り付る。  
吹き絵付：噴射機で必要な箇所に吹き付ける。

金線ひきは全くの手作業、転写・吹付は経験からの合理化か？

### 3F：素描きスタジオ

熟練した職人たちが高度な絵付け技術と芸術的感覚で、丁寧に手描きで絵柄を描いていく工程。全くの手工芸である。

### 4F：ミュージアム：『ノリタケ』がこれまでにつくりだしてきた製品の数々を陳列したミュージアム。『オールドノリタケ』の初期の食器に出会える。

### 5F：テーブルトップギャラリー：食器はインテリアの一部。使って楽しみ、触れて楽しむアートと同じです。素晴らしい食器セットが素晴らしい演出で展示してある。

見学を終わって、『ノリタケ』は私が見学前に考えていた以上に素晴らしい、テーブルウェアのトータルメーカーとして長い技術の蓄積と世界に確固たる地盤をもった優良な企業であり、本日の見学は大変良かったし、心に残るものであった。

見学を終わりすぐ近くの『和食の大野屋』で全員で会食し、大いに親善が計れた。会食後、真野運営委員の先導で8名の方がトヨタ産業技術記念館を見学された。

以上

**訃報** 鯨城会運営委員としてご活躍を頂いておりました松栄学区11期・武藤繁夫氏が急性心筋梗塞にて1月5日急逝されました。誠に残念です。日比会長、関係役員葬儀に参列し丁重に弔意を表しました。

### 【訂正とお詫び】

前回の『こじょう会報』第14号に誤りがありました。お詫びを申し上げますと共に、下記の通り訂正下さい。

部位	誤	正
6頁 8行	本号	本郷
6頁下から6行	堀江昭二	広江昭二
8頁本欄を	龍仙寺	龍泉寺

# 俳句【Ⅱの3】

2期文化 鬼頭 秀三

空<sup>うつせみ</sup>蟬よもの言<sup>こと</sup>つてくれあばれ梅雨

かげろうに水鳥千羽揉まれおり

道を聞く木犀まとうみめよき人

大花野ごろ寝の空にとんびの輪

思い出が追いすがる暮虫初音

六地藏道は三本秋の暮

生前をさがせど見えぬ夜長かな

白<sup>しろはす</sup>蓮のとわの別れをかるくする

秋彼岸また會う里の大入日

紅葉山木もれ日ころころ石佛

## 昭和鯨城会：行事予定

平成11年 4月～6月

4月14日(水) 総会(第4会議)

21日(水) グランドゴルフ

29日(木) 区役所に協賛八事山歩き

5月12日(水) 役員会(第4会議)

19日(水) 楽しく歩こう会

26日(水) グランドゴルフ

31日(月) こじょう会便り

6月 2日(水) グランドゴルフ

9日(水) 研修会&懇親会

16日(水) 楽しく歩こう会

23日(水) グランドゴルフ

30日(水) グランドゴルフ

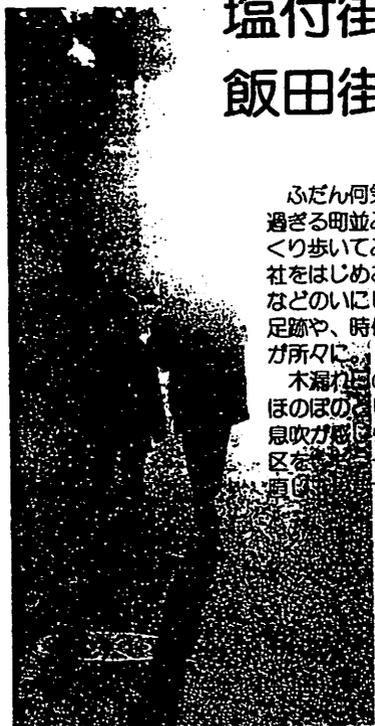
# ガイドマップ (The SHOWA) づくり

10期 園芸 近藤 彰

## THE SHOWA vol.1

ザ・しょうわ  
～ 歩いてみませんか昭和区 ～

### 塩付街道 飯田街道



ふだん何気なく通り  
過ぎる町並みも、ゆっ  
くり歩いてみると、寺  
社をはじめお地蔵さん  
などのいにしえからの  
足跡や、時代の先取り  
が所々に  
木漏れ日の間から、  
ほのぼのとした新しい  
息吹が感じられる昭和  
区を一度見つめ  
直してみませんか。

名古屋市昭和区



### 『TheSHOWA』の表表紙

クリでした。

そのうえ、2月10日の『区をつどい』に配付したいとのことでした。頼まれればやるしかないが……。テーマについては我が方の希望が入れられました。

陣容強化のため急きよ服部さん（10期園芸・クラブ郷土史）に参加願いました。

制作にあたっては、1月25日最終打合せまでに、区側などとの打合せ6回（区長3

発刊にかかわったものとして、書くようにと言われました。これは難しい話だと思います。

自画自賛は心苦しいし、かといって謙そんするのも他のスタッフに申し訳ないし……。

従って、ごく事務的に報告いたします。

昭和区長から会長のところへ協力要請のありましたのは『昭和区を重層的に紹介するマップづくり』というむつかしく長い見出しのものでした。

第1回の打合せは10月21日でした。資料の件名は『昭和区の魅力を紹介するマップづくり打合せ』とこれも長いものでした。

出席者は区長、区政部長、地域振興課長と広報係長。ロータリークラブ（経費負担）の2名、昭和鯨城会3名（会長、柴田元会長と小生）でした。

資料のはじめに趣旨がのっていましたが、かなり長い文面なので省略します。マップに添えられた『発刊あいさつ』をご覧ください。

柴田さんと小生はメンバーの一員と想定していましたら、『鯨城会さんトップバッターを願いたい』といわれ（資料にもそのように書いてあった）ピッ

回、部長4回出席)、撮影含めて実地調査2回、我々だけの打合せは4回しました。

(電話では随時)。我が方としてはその間に対象個所の選定、説明文の作成を3名で分担して何回も持ち寄り削ったり加えたり。このくり返しでありました。

年末年始をはさんでの3カ月かなりきつかったです。この間柴田さんにはマップのレイアウトとか記事の編集も引き受けて頂きました。感謝しています。

平成11年2月10日が来ました。『名古屋新世紀計画2010』を考える昭和区のとどいです。みんなで作ったマップが出席者へ配布されるときです。会場には、畳くらいの大きさに拡大したマップが掲出されていました。区役所の期待の気持ちがうかがわれました。(このマップの横に昭和鯉城会の文字も大きかったです)

会場には、市長、県市会議員(区内出身者)の方、あるいは区内官公署の長などが出席されていました。『次第』の中であらかじめ決められた意見発表者の一人として柴田さんがマップが完成するまでの発表をされました。よかったです。次に区長が、あいさつの中でマップについて述べられ、その中で『昭和鯉城会』にふれられました。一方マップの刊行について新聞記事になったこともいい思い出になります。

最後になりましたが、マップ作成に当たって

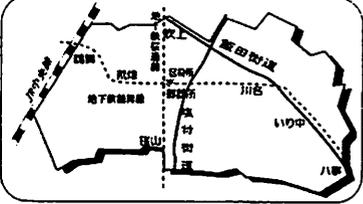
説明文の推こうなど、熱心にご協力いただいた名短大附属高校の河合先生。イラストを書いて下さった同校の3名の生徒さん。

写真撮影の小関広報係長、岩澤さん、村石さん。

また、取材に心よく協力くださった方々。

ほんとうにありがとうございました。

**昭和区略図**



◎散策ルート

〈塩付街道〉 ポイント①～②  
\* 地下鉄「桜山」3番出口から、「塩付」バス停まで (2km)

〈飯田街道〉 ポイント③～④、⑤～⑥  
\* 地下鉄「吹上」5番出口から、地下鉄「川名」経由、地下鉄「八事」まで (4km)  
地下鉄「川名」で、東西2コースに分け、散策できます。

「The SHOWA」は、昭和区を愛する人たちが手づくりでつくったマップです。「vol.1 塩付街道、飯田街道」では、江戸・明治時代など、往時を想ってみました。  
「The SHOWA」へのご意見・ご批判を、お待ちしております。

(ご協力いただいたみなさん)

- 昭和鯉城会
- 名古屋昭和ロータリークラブ
- 名古屋短期大学付属高等学校  
(平成11年4月1日から桜花学園高等学校に校名変更)
- 昭和区住みたくなるまちづくり研究会

編集・発行 「The SHOWA」委員会  
事務局 名古屋市昭和区阿由知道3-19  
(昭和区役所地域福祉課内)  
Tel (052)735-3821 Fax (052)735-3827

この印刷物は、再生紙(古紙使用率100%)を使用しています。

『The SHOWA』の裏表紙